

みんなで  
つくりよう!

# とっどりの“学び”

小学校  
児童・保護者用

ー平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査からー

このリーフレットは、平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果の分析をもとに、鳥取県の子どもたちの学ぶ力をさらに伸ばし夢や目標に向かって進んでいくため、また、子どもたちのすこやかな成長のために大切だと思われる内容をまとめたものです。たくましく夢をもって自立できる子どもを育てるため、家庭・地域と学校が連携・協力して子どもたちのすこやかな育ちと学びを支えていきましょう。

## ★鳥取の子どもたちのよいところ★

人の役に立つ人間に  
なりたいと思いますか



**96.1%**  
(95.2%)

学校のきまりは  
守っていますか



**92.6%**  
(92.3%)

難しいことでも、失敗を  
恐れないで挑戦していますか。



**81.2%**  
(79.0%)

学級みんなで話し合っ  
て決めたことなどに協  
力して取り組み、うれ  
しかったことがありますか。



**85.8%**  
(84.1%)



児童質問紙で肯定的な回答の割合が全国平均よりも高かったもの(抜粋)

<対象：小学校6年生>  
( )は全国平均

## すこやかな“とりっこ”の育ちと学びを共に

4つの  
ポイント

生活習慣を  
身につけよう

生きる力を  
育てよう

夢を  
育てよう

広い心で  
受けとめよう

鳥取県教育委員会

たくましく・夢をもって・自立できる子を育てる4つのポイント

- 『学校』(P2) 生きる力 学びの、その先へ
- 『学校』(P3) 平成31年度（令和元年度）教科の学力状況
- 『学校』(P4) みんなで「学ぶ楽しさ」を実感しよう とりっこ学び大作戦!
- 『家庭』(P5・6) 子どもと向き合うとっどりの家庭教育
- 『地域』(P7) コミュニティ・スクール「地域とともにある学校づくり」
- 『家庭』(P8) いきいき生活リズム(家庭での様子についてチェックしてみましょう)

もくじ



鳥取県教育振興基本計画へ  
GO!

# 生きる力 学びの、その先へ

## 自ら課題を見付け、自ら考え、判断して行動できる子どもを育てましょう！

**学習指導要領が  
変わります**



小学校：令和2年度～  
中学校：令和3年度～

### 「学習指導要領」とは？

全国どここの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基に子どもたちの教科書や時間割が作られます。

学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。令和2年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

### 「生きる力」を育むために 子どもたちの学びはどう進化するの？

**主体的・対話的で深い学び** (アクティブ・ラーニング) の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に  
自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

**カリキュラム・マネジメント** を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に検証して改善する



教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

学んだことを人生や社会に生かそうとする  
**学びに向かう力、人間性**など



実際の社会や生活で生きて働く  
**知識及び技能**

未知の状況にも対応できる  
**思考力、判断力、表現力**など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく**育みます。

**学校**

## 幼児期から学びはつながっています!

幼児期に遊びを通して身に付けた力は、小学校以降の創造的な思考や主体的な生活等の基礎となっています。

(例) **「対話的な学び」のつながり**

幼児期において、「対話的な学び」は友達や保育者、地域の方との関わりを深める中で、自分の思いや考えを伝え合い、自らの考えを広げ深めることで実現します。



友達や先生の話に関心をもって聞こうとする。

考えたことを自分なりに表現しようとする。



必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えて自分の考えをもつ。

相手や目的に応じて適切な表現方法を選んで表現する。



論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。

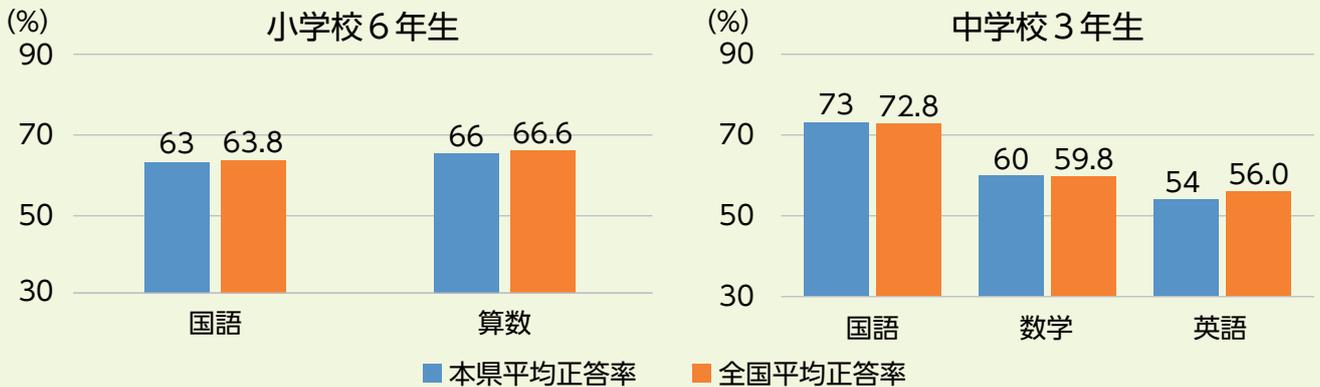
表現手段の特徴を理解し、相手や目的、意図に応じて効果を考えながら工夫して表現する。

# 平成31年度(令和元年度) 教科の学力状況



子どもたちが生きていくこれからの社会では、「何を理解しているか、何ができるか」ということだけでなく、「身に付けた知識や技能をどう活用するか」が大切になってきます。各教科の学習では、教科の知識や技能だけでなく、それらを活用する思考力、判断力、表現力等を育成することが求められています。それにともなって、本年度の全国学力・学習状況調査においては、前年度のA問題(知識)、B問題(活用)という区分をなくし、知識・活用を一体的に問う構成になりました。

国語、算数ともに、全国平均と大きな差はみられませんでした。国語では「目的に応じて質問を工夫する問題」に、算数では「成り立つ性質や考え方を根拠と合わせて説明する力」に課題があることがわかりました。



鳥取県教育委員会事務局  
小中学校課ホームページへGO!

「全国学力・学習状況調査」は、子どもたちの学びについてどんな力が身に付き、どこに課題があるのかを調査し、子どもたちの力をさらに伸ばすための取組に生かすものです。家庭、地域、学校で連携しながら、鳥取の子どもたちが、変化の大きいこれからの社会で、様々な人と共に、自分らしく生きていく力を伸ばしていきましょう。

( )は全国平均

国語の勉強は好きですか。

**65.6%**  
(64.2%)

学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。

**78.5%**  
(74.0%)

算数の勉強は好きですか。

**63.1%**  
(68.6%)

小学校6年生

質問紙回答からわかる  
鳥取県の子どもの学びの姿

国語の授業内容はよくわかりますか。

**85.1%**  
(84.9%)

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

**77.0%**  
(73.4%)

算数の授業内容はよくわかりますか。

**79.2%**  
(83.5%)

国語の授業内容はよく分かりますと答えた人が多いね。

学級の話し合いが生活に生かされている感じがするね。授業でも学び合いができてきているのかな。

算数に苦手意識を持っている人が多いなあ。





# ～学校で学んだことが、明日、そして『学校での学び』と『家庭での学び』

## みんなで「学ぶ楽しさ」を実感しよう とりっこ学び大作戦!

めあてをもって学習しよう

考えたことを伝え合おう

自分の学習を振り返ろう

### 全国学力・学習状況調査結果から見える課題

国語

- ◆同音異義語を文脈に沿って正しく書くこと
- ◆目的を明確にしてインタビューに臨み、自分の聞きたい内容に合わせて質問の仕方を工夫すること

算数

- ◆目的に応じて、資料の特徴や傾向、必要な情報を読み取り、それらを関連付けて判断すること
- ◆成り立つ性質や考え方を根拠と合わせて表現すること
- ◆算数に対して苦手意識をもつ児童や算数を学ぶ楽しさを実感できない児童が多くなっていること

効果的な授業改善を進めるためには、新しい時代に向けて求められる学力が変わってきていることを教師が理解し、それに基づいた授業改善をしなければなりません。学校では、全国学力・学習状況調査を活用した授業改善に取り組んでいます。

学校は、「とりっこ学び大作戦」を大切にしながら、授業改善に取り組めます

学校

45分間で授業設計

授業改善

子どもたちが「わかった」「できた」を実感できる授業づくり



本時のねらいに対応した「めあて」(児童から見たゴールの姿)を設定します。

めあて → 関心・意欲、主体性

すべての児童を「おおむね満足できる状況」に到達することを目指します。

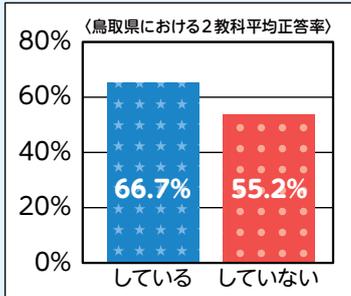
まとめ → 達成感、成就感

子どもたちに本時の学びを自覚させ、次時につながる振り返りを行います。

振り返り → 次の学びへの意欲

学校

授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか



11.5ポイント差

家庭

家庭でできることをやってみませんか

児童質問紙の以下の項目で、肯定的な回答をした児童のほうが、2教科平均正答率が高い傾向がみられました。

- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか
- 読書は好きですか
- 新聞を読んでいますか(週に1回以上)
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



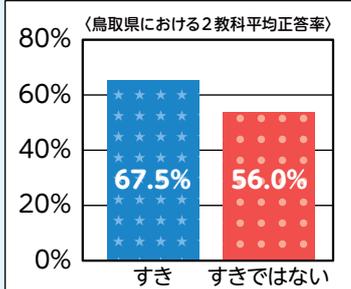
※2教科平均正答率とは・・・

ポイント差:(例)9.3%

「(どちらかといえば)している」と回答した児童の国語と算数の正答率の平均 → (例)71.8%

「(どちらかといえば)していない」と回答した児童の国語と算数の正答率の平均 → (例)62.5%

読書は好きですか

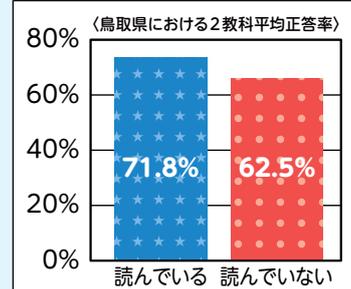


11.5ポイント差

言葉のキャッチボールをしながら、子どもの心と言葉を育み、夢を育てましょう。

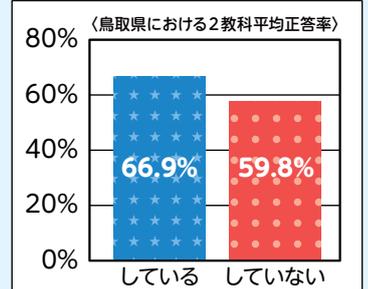


新聞を読んでいますか(週に1回以上)



9.3ポイント差

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



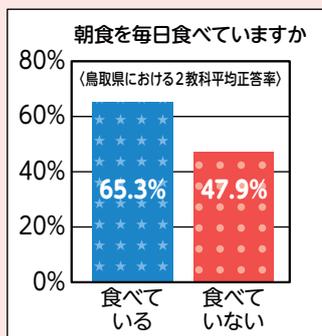
7.1ポイント差

# 未来につながる とっとりの教育 ～

## 『学び』を、つなぐことが大切です



### しっかり朝食を食べよう



毎日、朝食を食べたり、決まった時刻に寝たり起きたりする基本的な生活習慣の定着は、2教科平均正答率に大きな関係がありそうです。

17.4ポイント差

### 『家庭は心のねっこになる』

#### 生活習慣を身につけよう



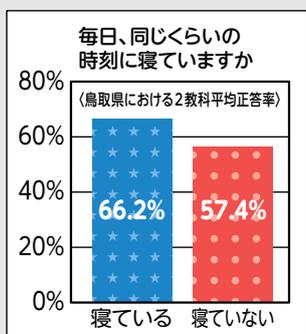
- ◆ 早寝早起きで生活リズムをつくりましょう
- ◆ 毎日朝ごはんを食べましょう
- ◆ メディア使用にルールを作りましょう

◆ 小学校低学年で10時間、高学年で9～10時間の睡眠時間が必要です。高学年までに自分で生活リズムが整えられるよう、低学年から継続して声をかけていきましょう。

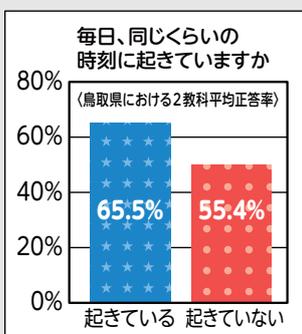
◆ 朝食は一日のエネルギーの源です。毎日決まった時間に起き、朝食を食べる習慣づくりを心がけましょう。

◆ 子どもにとっても情報通信機器は大変身近な道具です。ゲームやパソコンなどは持たせる前に、使用についてのルールを親子でしっかり話し合い、安全で上手な使い方を一緒に考えましょう。親も、情報モラルについて学びましょう。

### たっぷり寝よう

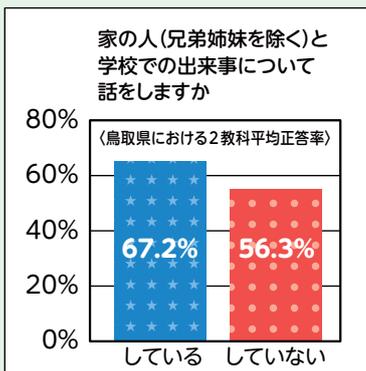


8.8ポイント差



10.1ポイント差

### 親子で会話をしよう



「家の人と学校での出来事について話をしている」と肯定的に回答をした児童のほうが、2教科平均正答率が高い傾向がみられました。

10.9ポイント差

### 夢を育てよう



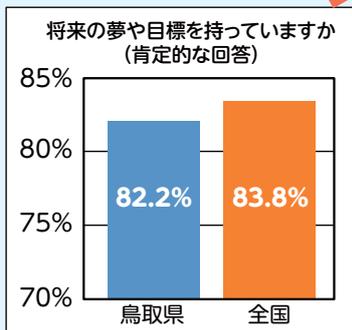
- ◆ 一緒に夢を語り合しましょう
- ◆ 様々な体験をさせましょう

◆ 一緒に活動したり親自身の経験を伝えたりする機会をもち、将来、子どもがどのように生きていくのか一緒に考えてみましょう。

◆ 読書や体験は、間接的、直接的に達成感を味わったり、失敗から学んだり、想像力・感性を育てます。また、地域行事や様々な年齢の方とふれあう時間からは、社会性など学ぶことがたくさんあります。親も一緒に考え、共に学んでいく姿勢をもって積極的に参加し、子どもの成長を応援しましょう。

### さらに伸ばしたいところ

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、肯定的な回答をした鳥取県児童数の割合は、全国平均を1.6%下回る結果となりました。



### 地域

地域とつながり、社会の一員としての自覚を高めましょう!

今住んでいる地域の行事に参加している児童数の割合は、全国平均を13.3%上回っています。



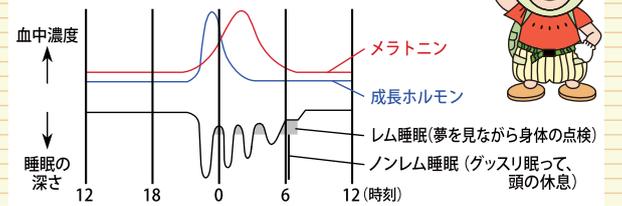


生活リズムについて考えてみよう!

朝は外の光を入れ、夜は暗くする

「メラトニン」は、朝目覚めてから14~16時間して、夜暗くなると分泌される眠りを誘う睡眠ホルモンの一種です。夜に明るいとこで過ごしていると、分泌されにくくなります。また、思春期のころまで第二次性徴(性的な成熟)を抑えるはたらきもあります。

「成長ホルモン」は体の成長や代謝をコントロールするはたらきがあります。眠りについた最初の深い眠りの状態の時に多く分泌されます。(夜更かして分泌が低下するわけではありません。)大人にとっても疲労を回復させ健康を保つ上で不可欠なホルモンです。



● 神山潤公式サイト <http://www.j-kohyama.jp>

~ 子どもと向き合うとっりの家庭教育 ~  
たくましく・夢をもって・自立できる子

生きる力を  
育てよう



- ◆ あいさつを交わしましょう
- ◆ ルールやマナーの手本を示しましょう
- ◆ 家族の一員としての役割を与えましょう

- ◆ 「おはよう」「いただきます」「おかえりなさい」等のあいさつは大人から声をかけながら、コミュニケーションの大切さを伝えましょう。
- ◆ 子どもはルールやマナーを身近な大人から学び、自分で判断し行動するようになります。大人は、子どものよい手本となりましょう。
- ◆ お手伝いは、成長に応じてできることをさせましょう。感謝を伝えることで、「役に立った」「責任を果たした」という自信が育まれ、自己肯定感(自信や自分を大切にすること)が高まります。

広い心で  
受けとめよう

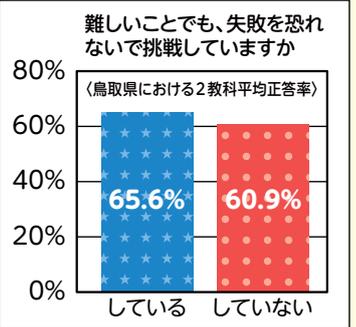


- ◆ しっかりほめましょう
- ◆ 「教える」「叱る」時は心を込めて向き合しましょう

- ◆ 子どもへの共感やほめ言葉、励ましによって伝わる愛情に包まれて、子どもの自己肯定感は育まれます。時には抱きしめることで愛情や信頼する思いを伝えましょう。
- ◆ 叱るときは、子どもと向きあってわかるように説明し、正しいことを教えましょう。子どもを否定せず、愛情をもって叱りましょう。

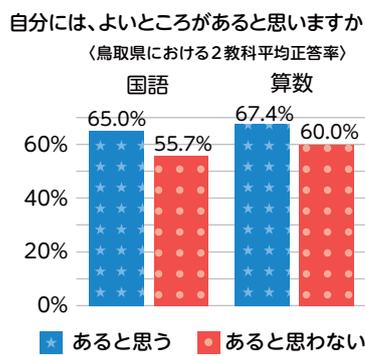
失敗を恐れないで挑戦しよう

肯定的な回答をした児童のほうが、2教科平均正答率が高い傾向がみられました。



4.7ポイント差

しっかりほめよう



肯定的な回答をした児童のほうが、2教科平均正答率が高い傾向がみられました。

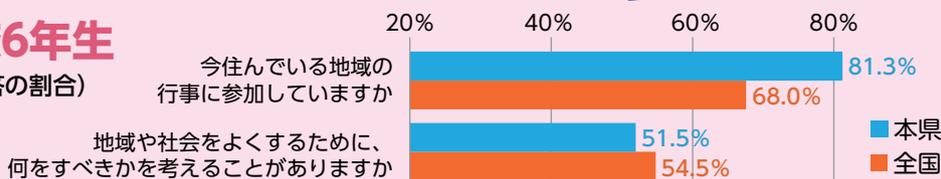
国語  
9.3ポイント差

算数  
7.4ポイント差



「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」といった地域や社会に参画していく意識が全国平均に比べて低くなっています。子どもたちが地域や社会に関わり、社会の一員としての実感がもてるような機会をつくっていきましょう。

小学校6年生  
(肯定的回答の割合)



# コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組みをつかい、 「地域とともにある学校づくり」を推進中!! 学校・家庭・地域で鳥取の子どもを育てましょう!!

## コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)



コミュニティ・スクールとは  
「学校運営協議会」を設置している学校のこと

### コミュニティ・スクールの主な3つの機能

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6】

- ・校長が作成する学校運営の**基本方針を承認する**
- ・**学校運営について**、教育委員会又は校長に**意見を述べる**ことができる
- ・**教職員の任用に関して**、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に**意見を述べる**ことができる

## 学校

## 地域

めざす子ども像の共有



## 地域学校協働活動



地域学校協働活動とは、**地域と学校が目標を共有して行う「連携・協働」型の活動**のこと

### 地域学校協働活動

- 協働活動** 地域人材育成、協働学習、協働防災訓練、学習・部活動支援、環境整備、登下校の見守り等
- 放課後等の学習支援** 放課後、土曜日、休日における学習、スポーツ活動等
- 体験活動** 社会奉仕活動体験、自然体験活動、職場体験等

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の取組で広がる子どもの可能性は何？



たくさんの人との出会いにより、自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

より安心・安全な環境の中で、学習・生活ができるようになります。



多くの大人の専門性や地域の力を生かし、子どもたちの学びや体験活動が充実し、生きる力が育まれます。

地域住民との交流の中で、地域への理解・関心が高まります。

## ふるさとキャリア教育を推進します!!

地域への愛着をもとう

体験的に学び、自分にできることを考えよう

ふるさとの課題解決をめざして行動しよう

ふるさに誇りを持ち、生き方を確立しよう

幼稚園・認定こども園  
保育所

小学校・義務教育学校  
特別支援学校小学部

中学校・義務教育学校  
特別支援学校中学部

高等学校・  
特別支援学校高等部



身近な自然に親しむ



防災・安全マップづくり



地域で学ぶ職場体験



県内企業へのインターンシップ



鳥取県特別支援学校技能検定の実施

## 乳幼児期から高校卒業までの取組をつなぎます

### 鳥取県における「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像

1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身に付けた人材
3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

# いきいき生活リズム

～家庭での働きかけが  
学力向上にもつながります～



スタート

生活リズムの改善！  
まずは「早起き」から  
始めましょう。



朝起きたら、家族みんなで  
元気に“おはよう！”

つぎは「朝食」で脳を  
目覚めさせましょう。



食事時間は楽しい時間！  
朝ごはんをしっかり食べて  
一日のエネルギーをチャージ！

時間を決めて、おだやかな環境を  
ととのえ“おやすみなさい”



テレビやゲーム機・  
パソコンの明かりは  
脳への刺激が強いため、  
就寝する30分前には  
終わらしましょう。



毎日、朝食を食べたり、決まった時刻  
に寝たり、起きたりする基本的な生  
活習慣が定着している児童は、平均  
正答率が高い傾向がみられました。

⇒P5へ

メディア使用のルールについて  
持たせる前に話し合い、  
持たせた後も親が管理



リビングにお便利  
ボックスを置くなど、  
学校からのお便利が  
おうちの方に届く  
工夫があると  
いいですね。

いってきます！ただいま！の声は  
元気な心のバロメーター



決まった場所で家庭学習  
めやすは【学年×10分+10分】

※各市町村・学校から示される時間も  
参考にしましょう。

保護者の責任で「ペアレンタルコントロール」の  
措置が必要です。

- ・インターネットを利用できる時間や場所を制限
- ・保護者の同意した機能のみネット利用が可能 等

「フィルタリング」  
や「ウイルス対策」  
で安全対策を  
しましょう。

生活の中に  
お手伝い時間



お手伝いをしたら  
家族みんなが  
喜んでくれるのが  
うれしいんだ！

家で自分で計画を立てて勉強  
していると回答した児童ほど  
2教科平均正答率が高い傾向  
がみられました。 ⇒P4へ

## 家庭での様子についてチェックしてみましょう

生活

- 決まった時刻に起きていますか
- 朝食を食べていますか
- 決まった時刻に寝ていますか
- 気持ちのよいあいさつを交わっていますか
- テレビやゲームの時間のルールを話し合って  
決めていますか

学習

- 決まった時刻に学習を始めていますか
- 落ち着ける場所で学習をしていますか
- テレビや音楽を消して学習をしていますか
- 宿題以外の学習内容について、計画的に  
取り組んでいますか

その他にもチェックしましょう！

- 学校での出来事について話をしていますか
- 親が手本を示していますか
- お手伝いの習慣がついていますか
- 運動や遊びなど活動を一緒にしていますか
- 身近に本がありますか
- よい行いをほめていますか
- 愛情を言葉で伝えていきますか

子どもと一緒にチェックしましょう。